

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【公開番号】特開2017-137323(P2017-137323A)

【公開日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2017-030

【出願番号】特願2017-37462(P2017-37462)

【国際特許分類】

C 07 D 403/12 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 K 31/53 (2006.01)

A 61 K 31/5377 (2006.01)

【F I】

C 07 D 403/12 C S P

A 61 P 35/00

A 61 K 31/53

A 61 K 31/5377

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月18日(2017.7.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

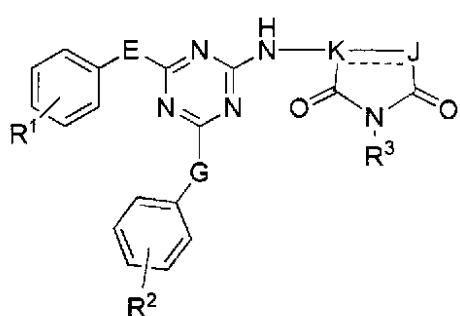
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式1の化合物又は薬学的に許容可能なその誘導体、塩、又は水和物。



式1

(式1において、E及びGはそれぞれ独立していずれかの配向の-NH-C₁-₄アルキル-であり、

は単結合を意味し、

が単結合である場合、KはNであり、JはC₁-₂であり、

R¹及びR²はそれぞれ0~2個の置換基であり、各置換基は-C₁-₄アルキル、-O H、-O-C₁-₄アルキル、-N(R⁴)₂、-C₁-₄アルキルN(R⁴)₂、-NO₂、ハロゲン、及びCF₃からなる群から独立して選択され、

各R⁴はH、-OH、-C₁-₄アルキル、-C(O)OC₁-₄アルキル、及び-

$C(O)R^5$ からなる群から独立して選択され、ただし一つの R^4 が -OH である場合、もう一つの R^4 は -OH であり得ない、又は、

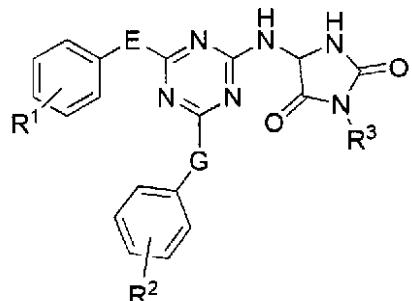
- $N(R^4)_2$ はピロリジニル基、ピペリジニル基、ピペラジニル基、又はモルホリノ基であり、随意的にはメチル基で置換され、

R^5 は - C_{1-4} アルキル及びフェニルからなる群から選択され、及び

R^3 は、 -H、及び - C_{1-4} アルキルからなる群から選択され、及び前記誘導体は、少なくとも 1 つの四級化された塩基性含窒素基又は少なくとも 1 つのエステル化された水酸基を含む。)

【請求項 2】

請求項 1 に記載の式 2 の化合物又は薬学的に許容可能なその誘導体、塩、又は水和物。



式2

(式 2 において、E 及び G はそれぞれ独立していずれかの配向の -NH- C_{1-4} アルキル - であり、

R^1 及び R^2 はそれぞれ 0 ~ 2 個の置換基であり、各置換基は - C_{1-4} アルキル、-OH、-O- C_{1-4} アルキル、- $N(R^4)_2$ 、- C_{1-4} アルキル $N(R^4)_2$ 、-NO₂、ハロゲン、及び CF₃ からなる群から独立して選択され、

各 R^4 は H、-OH、- C_{1-4} アルキル、- $C(O)OC_{1-4}$ アルキル、及び - $C(O)R^5$ からなる群から独立して選択され、ただし一つの R^4 が -OH である場合、もう一つの R^4 は -OH であり得ない、又は

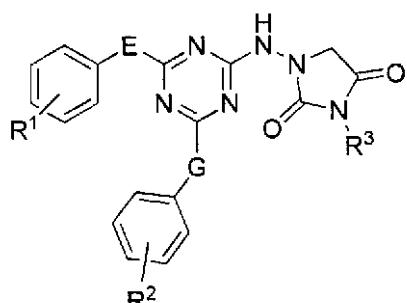
$N(R^4)_2$ はピロリジニル基、ピペリジニル基、ピペラジニル基、又はモルホリノ基であり、随意的にはメチル基で置換され、

R^5 は - C_{1-4} アルキル及びフェニルからなる群から独立して選択され、

R^3 は、H、及びメチル基からなる群から選択される。)

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の式 3 の化合物又は薬学的に許容可能なその誘導体、塩、又は水和物。



式3

(式 3 において、E 及び G はそれぞれ独立していずれかの配向の -NH- C_{1-4} アルキル - であり、

R^1 は -O- C_{1-4} アルキルであり、 R^2 は - C_{1-4} アルキル NH R^4 であり、

R⁴ はそれぞれ独立して -H であり、及び
R³ は、H、及びメチル基からなる群から選択される。)

【請求項 4】

E 及び G のヘテロ原子が両方トリアジン環に結合する、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の化合物。

【請求項 5】

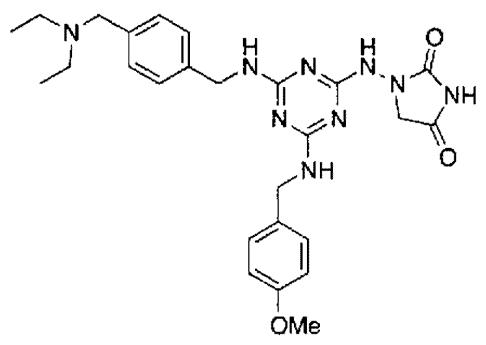
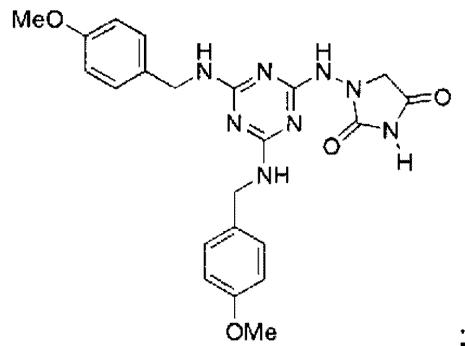
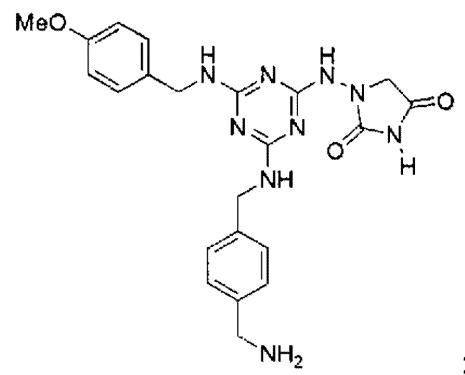
R¹ 及び R² のそれぞれがパラ置換基である、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の化合物。

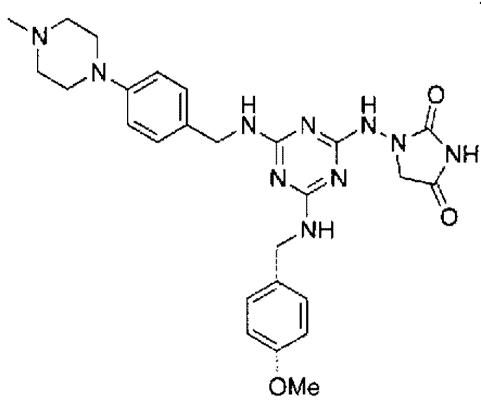
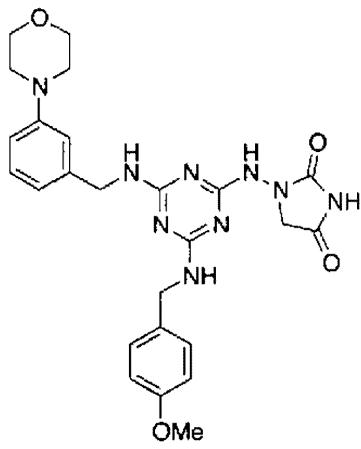
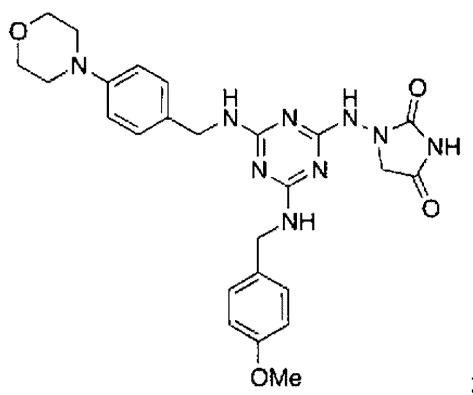
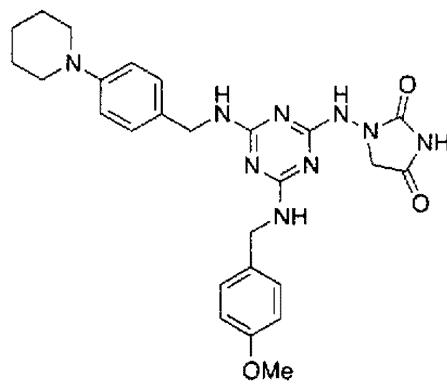
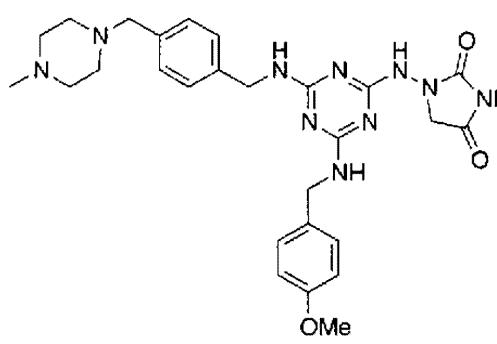
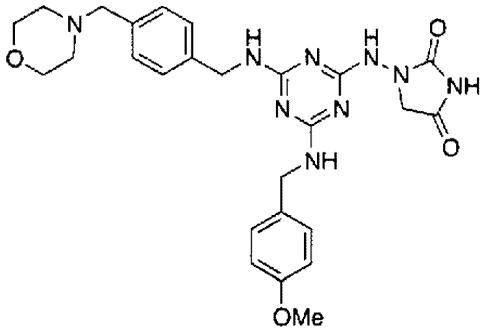
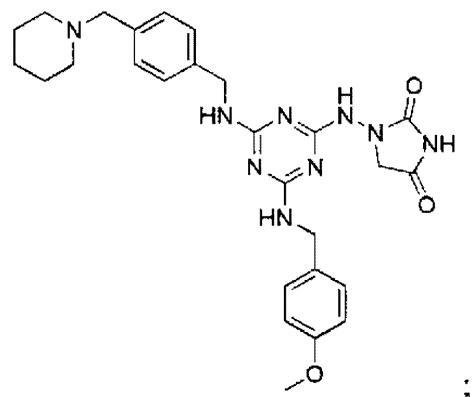
【請求項 6】

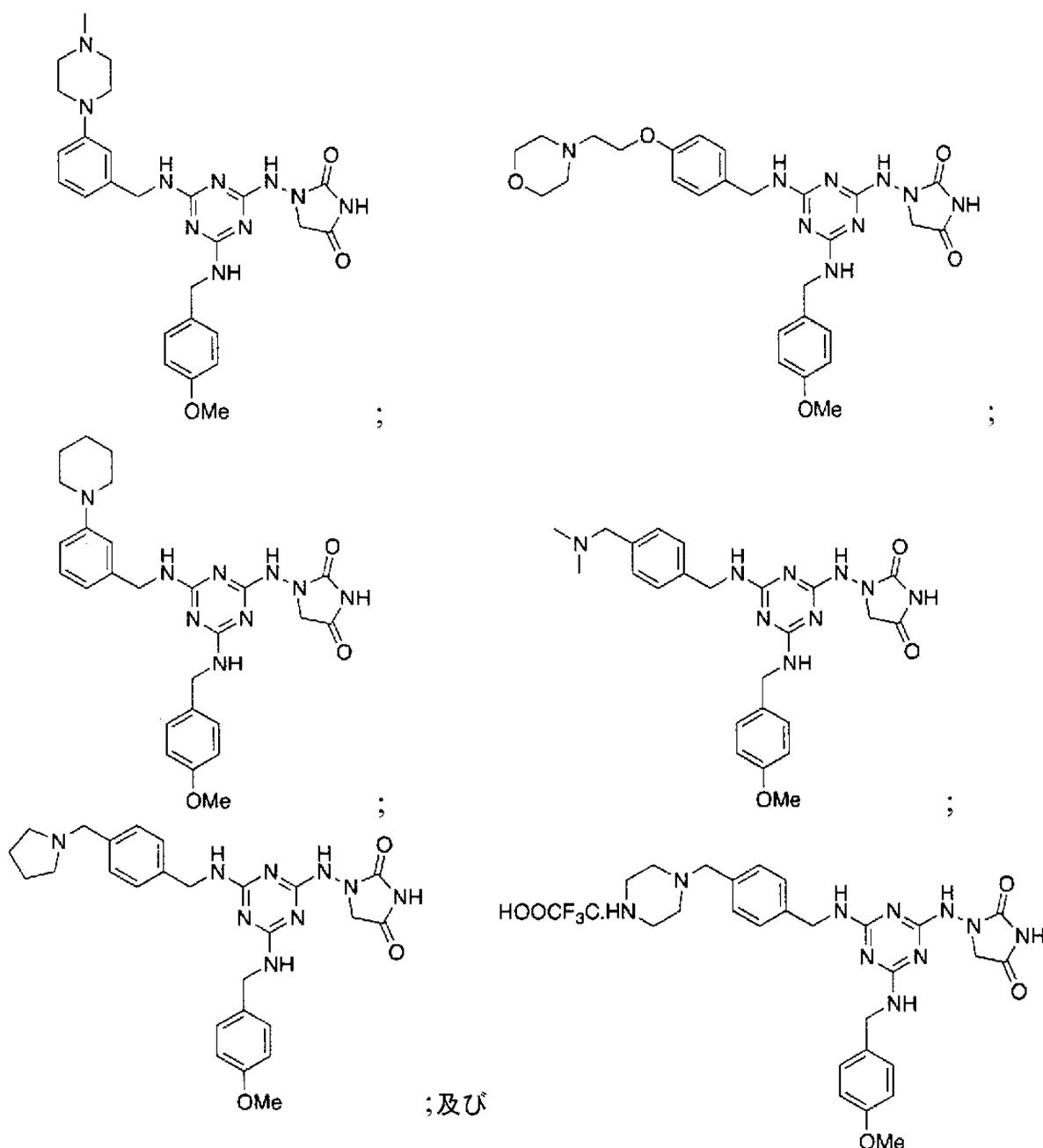
R³ は H である、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の化合物。

【請求項 7】

以下の式からなる群から選択される、請求項 1 に記載の化合物。

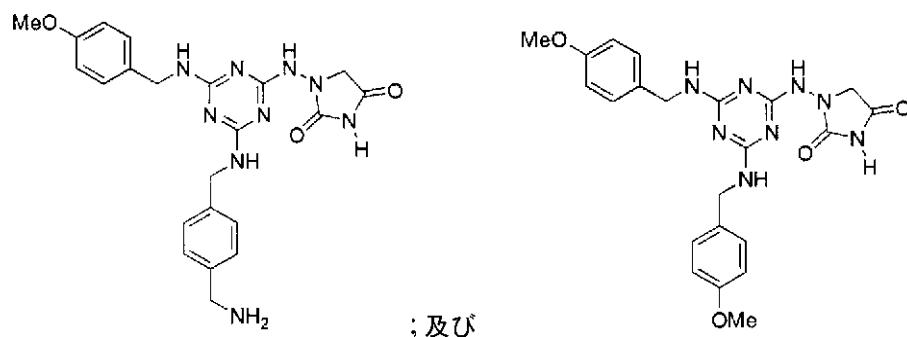






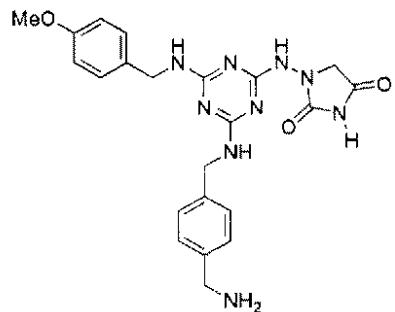
【請求項 8】

以下の式からなる群から選択される、請求項 1 又は 2 に記載の化合物。



【請求項 9】

請求項 1 から 8 のいずれかに記載の化合物であって、以下の式の化合物。



【請求項 10】

がん治療用の製剤であり、請求項 1 から 9 のいずれかに記載の化合物又は薬学的に許容可能なその誘導体、塩、若しくは水和物の有効な量を含む製剤。

【請求項 11】

前記がんは大腸がん、非小細胞肺がん、脳がん、又は乳がんである、請求項 10 に記載の製剤。

【請求項 12】

請求項 1 から 9 のいずれかに記載の化合物又は薬学的に許容可能なその誘導体、塩、又は水和物と、薬学的に許容可能な担体、希釈剤、又は賦形剤と、を含む医薬組成物。